ワクワクが止まらない！

祭りを100%楽しむ注目イベント

海老名市スポーツ推進委員協議会などによるニュースポーツ体験！

年齢や体力に関係なく、誰もが気軽に楽しめるレクリエーションエリアです。ニュースポーツ「モルック」「ピックルボール」の体験ができます。家族や友だちと楽しみましょう。

時 9時30分～16時
場 スポーツランドⅡ

フォトスポット

5つの会場に計7カ所のフォトスポットがあります。市制施行55周年を記念した約3mの巨大えび～にゃのエアマスコットもあります。

思い出になる写真をたくさん撮ってください。

場 えびなバザール・わくわくランド・スポーツランド・スポーツランドⅡ・キッズランド

スタンプラリー

6つの会場のスタンプを集めて景品をゲットしましょう。

スタンプラリーの台紙は、各会場で配布します。景品はスポーツランドでお渡しします。

時 9時30分～15時30分（景品交換も含む）
場 えびなバザール・わくわくランド・スポーツランド・スポーツランドⅡ・キッズランド・ポニーふれあいランド

令和7（2025）年

1日開催では過去最多の16万5,000人が来場。中学生による演奏が会場を大きく揺らした。

令和4（2022）年

新型コロナウイルス感染症流行の状況が緩和し、3年ぶりの開催。2日間で計6,000発の花火を打ち上げた。海老名市親善交流大使のDA PUMP KENZOも祭りを盛り上げた。

令和元（2019）年

第44回目のこの年から11月開催に変更し、秋の風物詩の原点に。

過去最大規模の5,500発！

花火師に聞く舞台裏と楽しみ方

ことしは過去最大規模となる5,500発の花火が秋の夜空に咲き誇ります。打ち上げの裏側には、花火で物語を紡ぐ黒子たちの姿があります。11月の澄んだ夜空に光の大輪を描き出す花火師に、制作のこだわりや花火をより楽しむ方法などを聞きました。

夜空に描く物語と一発への祈り

きれいな花火を淡々と打ち上げるだけではお客様は飽きてしまうので、必ず〝ストーリー〟を織り交ぜます。あえて寂しい花火を打ち上げて、起承転結やメリハリを作っています。

制作は地味な作業の積み重ねです。花火が主役なので、見る人に楽しんでもらえればそれでいい。本当に黒子の仕事だと思っています。

打ち上がる直前は「事故がなく、無事に打ち上がって」と祈る気持ち。ただただ、それだけですね。毎回ドキドキの連続です。

一瞬一瞬、その人の瞬間のために

見る人にとって、花火はその日、その瞬間にしか出会えません。プロポーズのために花火を頼まれたこともあります。家族でのお出かけだったりもするでしょう。唯一、自分の思いを表現できる花火で、楽しんでもらえることが一番のやりがいです。

総勢50人の仲間たちと

打ち上げ当日になると、他の仕事に就いている人たちが、自然と集まり手伝ってくれます。打ち上げるまでに約50人もの人たちが「市民まつり」の花火を支えています。多くの人の思いを乗せた夜空の演出を、ぜひ会場で存分に楽しんでください。

㈱ファイアート神奈川
代表取締役社長 和田 順さん

20代の頃、打ち上がる花火を眺め、「自分ならもっと違うことができるのでは」と感じたことが、花火師を目指すきっかけになったという。会社としては、ことし3月の「高崎HANABIコンクール」で優勝した。

花火の豆知識

●風上から見るべし

こつは、風上から見ること。煙は風下に流れるので、クリアで美しい光景が楽しめます。

●打ち上げ筒は1回で1発

花火玉を詰める打ち上げ筒は、1本につき1発の使用が原則で、発数とほぼ同じ数が必要です。筒は清掃して、繰り返し使用するメイン道具の一つです。

●花火玉には名前がある

花火玉一つ一つに、色や散り方を表す「玉名（ぎょくめい）」という名前が付けられます。「親から子への名付けと同じ気持ち」と和田さんは語ります。

有料観覧チケットを販売

17時30分から花火を打ち上げます。迫力満点の花火を新しいシートを含めた、計4タイプの有料エリアで観覧できます。

案内ページ

陸上競技場スタンド席

時 入場は9時30分から 定 先着約1,000人 費 1席2,500円（お子さんの膝上観覧は無料） 他 先着34席のベビーカー利用者優先席あり

さがみグリーンライン観覧エリア

時 入場は16時から 定 先着約1,000人 費 中学生以上2,000円／小学生500円／未就学児無料

野球場芝生観覧エリア

時 入場は16時45分から 定 先着約700人 費 中学生以上1,000円／小学生500円／未就学児無料

NEW 体育館2階子育て応援シート

時 入場は9時30分から 定 先着約20シート 費 1シート7,000円 条 未就学児がいる家族のみ 他 1シート2m×3m（4～5人ほどのスペース）